



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月3日

上場会社名 山一電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6941 URL <http://www.yamaichi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田佳孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理本部長 (氏名) 松田一弘

TEL 03- 3734- 0115

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	20,454	1.8	2,557	6.1	2,534	6.8	2,146	11.0
2019年3月期第3四半期	20,833	10.8	2,725	22.1	2,718	23.3	1,933	31.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,949百万円 (7.1%) 2019年3月期第3四半期 1,820百万円 (48.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	99.29	
2019年3月期第3四半期	86.53	86.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	31,305	23,006	72.6	1,061.36
2019年3月期	29,308	22,288	75.2	1,004.27

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 22,724百万円 2019年3月期 22,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		22.00	32.00
2020年3月期		10.00			
2020年3月期(予想)				28.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2020年2月3日)公表いたしました「2020年3月期通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	4.2	3,300	13.5	3,250	14.8	2,700	15.2	125.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、取締役会決議に基づく自己株式の取得等を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得等の影響を考慮しております。

連結業績予想の修正については、本日(2020年2月3日)公表いたしました「2020年3月期通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	23,329,775 株	2019年3月期	23,329,775 株
2020年3月期3Q	1,919,449 株	2019年3月期	1,371,827 株
2020年3月期3Q	21,613,540 株	2019年3月期3Q	22,348,966 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題、中東における地政学リスクの高まり等により、全世界的に景気の先行きに不透明感が続いております。また、日本においては、雇用環境の改善は続いているものの、輸出の伸び悩みから景気の回復は緩やかな状況となりました。

このような状況の下、当社グループは3ヵ年中期経営計画(2018年3月期～2020年3月期)に基づき、「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを引き続き目指し、「グローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から、「成長戦略」と「構造改革」を戦略の核に取り組み、経営基盤の強化と収益の拡大を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高20,454百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益2,557百万円(前年同期比6.1%減)、経常利益2,534百万円(前年同期比6.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,146百万円(前年同期比11.0%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[テストソリューション事業]

第2四半期以降のメモリ半導体用ソケットの需要回復と、スマートフォン向け製品の販売が順調に推移しましたが、自動車需要の回復の遅れによる影響を引き続き受けました。

その結果、売上高9,098百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益1,303百万円(前年同期比7.5%減)となりました。

[コネクタソリューション事業]

通信機器向けコネクタ製品の売上は順調に推移しましたが、車載機器向けおよび産業機器向けコネクタ製品の売上は海外主要顧客の在庫調整および生産調整などが続いたことにより影響を受けました。収益面では、生産性の改善をはじめとした原価低減および固定費の改善等により伸長いたしました。

その結果、売上高10,460百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益1,297百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

[光関連事業]

医療機器向け、光通信機器向けおよび産業機器向けフィルタ製品などの売上は堅調に推移しましたが、一部製品で売価ダウンの影響を受けました。

その結果、売上高895百万円(前年同期比2.5%増)、営業損失1百万円(前年同期は営業利益37百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際会計基準審議会（IASB）が発行するIFRS第16号「リース」及び米国財務会計基準審議会（FASB）が発行するASU2016-02「リース」（以下、「IFRS第16号等」という。）を適用しております。

（資産）

当四半期連結会計期間末における流動資産は18,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ698百万円増加いたしました。これは主に、自己株式の取得及び剰余金の配当により現金及び預金が219百万円減少したものの、売上高の増加により受取手形及び売掛金が980百万円増加したことによるものであります。固定資産は12,978百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,299百万円増加いたしました。これは主に、保有株式の売却により投資有価証券が220百万円減少したものの、IFRS第16号等の適用により有形固定資産が1,583百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は31,305百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,997百万円増加いたしました。

（負債）

当四半期連結会計期間末における流動負債は6,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ271百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が103百万円、賞与引当金が86百万円減少したものの、IFRS第16号等の適用により流動負債のその他が473百万円増加したことによるものであります。固定負債はIFRS第16号等の適用などにより1,946百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,008百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は8,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,279百万円増加いたしました。

（純資産）

当四半期連結会計期間末における純資産合計は23,006百万円となり、前連結会計年度末に比べ718百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当697百万円及び取締役会決議による自己株式の取得599百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が2,146百万円となったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は72.6%（前連結会計年度末は75.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期通期の連結業績予想につきまして、本日公表いたしました「2020年3月期通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,318,859	8,099,377
受取手形及び売掛金	4,008,785	4,989,686
電子記録債権	477,280	523,090
商品及び製品	1,620,339	1,657,805
仕掛品	245,458	241,932
原材料及び貯蔵品	1,809,261	1,765,007
その他	1,163,052	1,068,443
貸倒引当金	△14,063	△18,121
流動資産合計	17,628,972	18,327,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,681,537	2,753,290
機械装置及び運搬具(純額)	1,981,224	1,563,972
工具、器具及び備品(純額)	1,463,007	1,482,324
土地	3,378,187	3,381,713
リース資産(純額)	25,022	16,723
建設仮勘定	344,775	359,438
その他(純額)	—	1,899,733
有形固定資産合計	9,873,754	11,457,196
無形固定資産	147,978	107,634
投資その他の資産		
投資有価証券	477,971	257,187
繰延税金資産	123,096	116,533
退職給付に係る資産	742,295	731,729
その他	348,426	308,127
貸倒引当金	△34,471	△0
投資その他の資産合計	1,657,316	1,413,578
固定資産合計	11,679,049	12,978,408
繰延資産	358	—
資産合計	29,308,380	31,305,630

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,284,159	1,248,952
1年内償還予定の社債	22,500	—
短期借入金	2,889,780	2,785,911
未払法人税等	302,195	302,301
賞与引当金	330,719	243,777
役員賞与引当金	—	46,500
その他	1,252,662	1,725,711
流動負債合計	6,082,017	6,353,153
固定負債		
長期借入金	549,930	291,630
役員退職慰労引当金	36,309	35,007
退職給付に係る負債	33,210	34,272
資産除去債務	20,516	20,870
繰延税金負債	42,561	42,153
その他	255,721	1,522,415
固定負債合計	938,249	1,946,348
負債合計	7,020,267	8,299,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,084,103	10,084,103
資本剰余金	1,793,091	1,775,084
利益剰余金	12,403,936	13,852,863
自己株式	△1,627,435	△2,183,721
株主資本合計	22,653,695	23,528,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,662	6,670
為替換算調整勘定	△559,166	△667,892
退職給付に係る調整累計額	△154,549	△143,027
その他の包括利益累計額合計	△602,054	△804,250
新株予約権	116,977	164,988
非支配株主持分	119,495	117,059
純資産合計	22,288,113	23,006,127
負債純資産合計	29,308,380	31,305,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	20,833,631	20,454,080
売上原価	13,491,662	13,166,544
売上総利益	7,341,969	7,287,536
販売費及び一般管理費	4,616,768	4,729,779
営業利益	2,725,200	2,557,756
営業外収益		
受取利息	9,061	8,691
受取配当金	26,091	6,666
持分法による投資利益	2,416	1,900
スクラップ売却益	22,050	13,563
助成金収入	876	2,077
受取保険金	—	49,091
その他	22,199	21,244
営業外収益合計	82,696	103,234
営業外費用		
支払利息	35,481	50,852
為替差損	37,721	36,868
その他	16,383	39,142
営業外費用合計	89,586	126,864
経常利益	2,718,310	2,534,126
特別利益		
固定資産売却益	14,089	2,873
投資有価証券売却益	—	123,183
特別利益合計	14,089	126,057
特別損失		
災害による損失	—	19,769
特別損失合計	—	19,769
税金等調整前四半期純利益	2,732,399	2,640,414
法人税、住民税及び事業税	542,167	468,889
法人税等調整額	253,980	22,978
法人税等合計	796,147	491,867
四半期純利益	1,936,251	2,148,546
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,416	2,440
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,933,835	2,146,105

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,936,251	2,148,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△344,099	△104,992
為替換算調整勘定	229,123	△99,642
退職給付に係る調整額	3,101	11,521
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,712	△5,631
その他の包括利益合計	△115,587	△198,744
四半期包括利益	1,820,664	1,949,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,813,835	1,943,909
非支配株主に係る四半期包括利益	6,829	5,891

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月31日開催の取締役会決議に基づく自己株式584,800株の取得等を行い、当第3四半期連結累計期間において自己株式が599,976千円増加しております。また、新株予約権の行使に伴い自己株式37,200株の処分を行い、当第3四半期連結累計期間においてその他資本剰余金が18,006千円、自己株式が43,690千円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,775,084千円、自己株式が2,183,721千円となっております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」及びASU2016-02「リース」の適用)

在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際会計基準審議会(IASB)が発行するIFRS第16号「リース」及び米国財務会計基準審議会(FASB)が発行するASU2016-02「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産が1,678,345千円、流動負債が227,156千円及び固定負債が1,451,189千円増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	コネクタソリューション事業	光関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	9,247,290	10,712,766	873,574	20,833,631	—	20,833,631
セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	9,247,290	10,712,766	873,574	20,833,631	—	20,833,631
セグメント利益	1,409,317	1,272,907	37,692	2,719,917	5,282	2,725,200

(注) 1. セグメント利益の調整額は、連結調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	コネクタソリューション事業	光関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	9,098,239	10,460,633	895,207	20,454,080	—	20,454,080
セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	9,098,239	10,460,633	895,207	20,454,080	—	20,454,080
セグメント利益 又は損失(△)	1,303,641	1,297,496	△1,129	2,600,008	△42,251	2,557,756

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、連結調整額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。